

青少年の 社会参加

北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業

この事業は、青年達が魅力ある地域づくりに主体的に参画し、自らの能力開発・向上と仲間づくりを進め、地域活動の担い手として成長し、地域の活性化・元気を生み出すことを目的としています。全道の青年団体・グループから事業（企画）を公募し、有識者による審査を行い、選定された事業に対し助成金を交付しています。

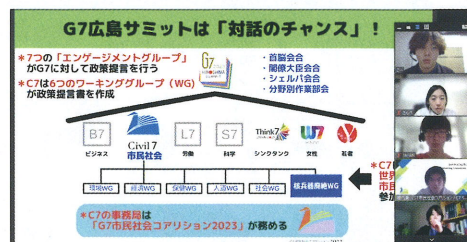
今回は、令和4年度に交付対象となった4事業をご紹介します。

特定非営利活動法人 ^{エゾ ロック} ezorock

事業名：GREENDAY2023オンライン 実施日：2023年2月18～19日

当団体は、平成13年に野外音楽フェスのごみ問題を解決することから活動を始め、その後、都市交通、子どもの体験活動、エネルギー、防災、関係人口など活動の幅を広げ、道内のNPO、市町村、企業等と連携し、若者が自ら考え行動しながら地域の課題に取り組む場の提供を行っています。

今回、社会問題を知るきっかけ作りや青年層のつながりの強化を目的とした「GREENDAY2023オンライン」を開催しました。今年は札幌でG7気候・エネルギー・環境大臣会合が開催されることに合わせ、国際や環境問題に関するセッションを多く実施し、道内外から2日間のべ77人の若者が参加しました。



特定非営利活動法人 ^{イー リンク} E-LINK

事業名：寺子屋プロジェクト「創世東よってこ！おちゃのみ」 実施日：2022年8月～2023年2月

当団体は、子どもも大人も地域も「なまら、ツナガル」をミッションに掲げ、都会の中の小さな田舎「トカイナカ」のようなコミュニケーションづくりを目指し、未就学児の親子が楽しく過ごす親子交流事業や、地域のお寺で学生が運営する「寺子屋事業」など幅広い活動を展開しています。

今回の寺子屋プロジェクト「創世東よってこ！おちゃのみ」では、毎週月曜の放課後、小学4年生以上を対象に約130年の歴史ある北海寺で、子どもと地域・大人をつなぐ地域の居場所を運営しています。高校生、大学生、地域の大人と関わり、安心して自分を表現し遊んだり、津波経験や語りの講演を聴いたり、自分たちでお泊まり会を企画したり…。子どもたちは地域のつながりの中で学び、主体性が育まれています。



^{いろ}「彩んな色」の会

事業名：車いすトイレマップ作成 実施日：2022年9月～2023年2月

当会は、母体となる「飛んでけ！車いす」の会の学生メンバーで構成され、授業のない土・日・祝日を中心に、広報活動やイベント開催準備などを行っています。また、自ら課題を考えて行動に移すことを心掛けており、身障者が利用しやすい設備を整えている施設や場所を把握し発信する活動にも積極的に取り組んでいます。

今回の「車いすトイレマップ作成」事業では、札幌市内の施設等を調査し、集めた写真や設備・注意点などの情報をGoogle「マイマップ」を用いて、オンライン上に公開しました。また、調査には、東京からの学生やインターン生が参加し交流を深めることが出来ました。マップにより、車いすを使用する方が気軽に外出し、日常生活を過ごしてもらえればと思います。



室工大カフェファンクラブはんもっく

事業名：工大生とトライしよう 実施日：2022年9月～10月

当団体は、室工大カフェに隣接した外部空間の一体的な活用を念頭に、同空間を拠点としつつ、学生とカフェ、地域住民、企業など様々な人との交流を目的として活動しています。これまでに、地域住民とカフェ外部空間のベンチづくりワークショップや、カフェでのイベント開催、市内の様々な地域活動への参加などを行っています。

今回、「工大生とトライしよう」では、地域の子供達を対象に建築学生によるお菓子の家づくりを行いました。イベントでは、子どもたちが自由に考えながら個性豊かな作品づくりを楽しんでいました。アンケートでは「想像力を養えるのが良かった」、「親子で作品づくりができて楽しかった」、「子供の作りたいデザインを尊重してもらえた」などの感想があり、少しだけ子育て支援できたかな。今後も地域の方々とつながれるイベントを開催していきたいです。

